

2024年5月28日

第36回丹沢ボッカ駅伝競争大会 実施報告書

実施日: 2024年5月12日

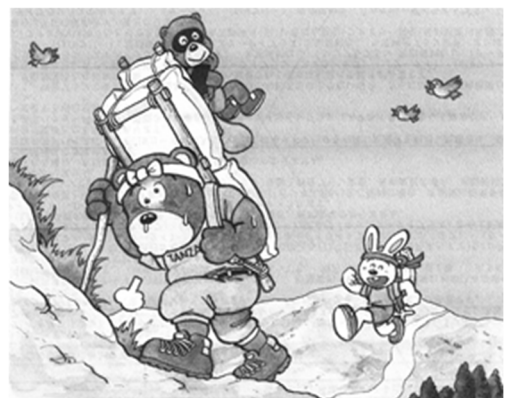
場 所: 秦野市大倉登山道(大倉尾根～花立山荘)

主 催: 丹沢ボッカ駅伝競争大会実行委員会



2024年5月12日、出場46チームにて、第36回丹沢ボッカ駅伝競争大会を成功裡に閉幕させることができました。この間、コロナ禍による中断を乗り越えて第2回目の開催となりました。開催にあたり、秦野市をはじめ関係諸機関、地元自治会のご支援、また山小屋関係者や多くのボランティアの皆様のご協力を賜りましたことに、深く感謝いたすとともに、謹んでお礼を申し上げます。

第36回大会の実施内容につきまして、以下の通り報告をさせていただきますので、ご高覧のほど、よろしくお願い申し上げます。



件 名	第36回丹沢ボッカ駅伝競争大会																
実 施 日	2024年5月12日〔日〕																
主 催	丹沢ボッカ駅伝競争大会実行委員会																
後 援	神奈川県、秦野市 秦野丹沢まつり実行委員会 (公財)神奈川県公園協会 (公財)秦野戸川公園 (公財)秦野市スポーツ協会 (公社)神奈川県観光協会(一社)秦野市観光協会 沢山小屋組合 日本赤十字社神奈川県支部																
開 催 地	神奈川県秦野市																
競 技 会 場	丹沢山塊 県立秦野戸川公園前～花立山荘間の大倉尾根登山道																
規 模	参加者 450名(内訳:選手184名、選手応援56、役員210、その他観衆等を含まず)																
選 手 状 況	チーム出場 46チーム(184名) ※棄権チーム:4																
開 会 式	競技開始に先立って、吉田大会会長の開会挨拶、高橋昌和秦野市長の来賓挨拶のあと、招待者の紹介があつて、開会式を開催した。																
大会 概 要	<p>「県立秦野戸川公園」前をスタートし、大倉尾根～花立山荘までの登山コースを4区間に分け「1チーム4 人」で、その合計タイムを競った。競技は表-1の通りの2クラスとした。</p> <p style="text-align: center;">表-1 出場チーム数の状況</p> <table><tr><td colspan="2">クラス名</td><td>チーム数</td><td colspan="2">クラス名</td><td>チーム数</td></tr><tr><td>B</td><td>20 kg 一般</td><td>40</td><td>C</td><td>10 kg 女子</td><td>6</td></tr></table>					クラス名		チーム数	クラス名		チーム数	B	20 kg 一般	40	C	10 kg 女子	6
クラス名		チーム数	クラス名		チーム数												
B	20 kg 一般	40	C	10 kg 女子	6												
運 営 状 況	秦野市等の山岳関係者や市民等の有志、そして山小屋関係者の協力を得て、全てボランティアにより運営された。																
交 通 安 全	県道706号の神奈中大倉バス停から大倉登山口の公道区間については、道路使用許可第961号(令和6年4月8日付け)を取得し、本部役員により交通安全配備を行った。																
救 護 状 況	大倉本部には医師による健康相談コーナー設置するとともに、中継点やコース上の救護に神奈川県山岳赤十字奉仕団等の協力をえた。万一の場合を想定してAED(自動体外式除細動器)を配備(内1台は秦野消防署から借用)して、救護体制を敷いた。																
大会 結 果	<p>競技終了後、表-2の表彰を行った。大会成績の詳細については添付資料を参照ください。</p> <p style="text-align: center;">表-2 大会上位の状況</p> <table><tr><td>区分</td><td>第一位</td><td>第二位</td><td>第三位</td></tr><tr><td>クラスB</td><td>GEBOKU</td><td>SC丹沢秦野</td><td>源流一本釣り</td></tr><tr><td>クラスC</td><td>かよわい源流系 山女たち</td><td>ひとめぼれ</td><td>青竹荘女子</td></tr></table>					区分	第一位	第二位	第三位	クラスB	GEBOKU	SC丹沢秦野	源流一本釣り	クラスC	かよわい源流系 山女たち	ひとめぼれ	青竹荘女子
区分	第一位	第二位	第三位														
クラスB	GEBOKU	SC丹沢秦野	源流一本釣り														
クラスC	かよわい源流系 山女たち	ひとめぼれ	青竹荘女子														

添 付 資 料	次ページをご覧ください 1) 第36回丹沢ボッカ駅伝競争大会結果 全記録 A4×1頁 2) 登山道整備活動実施報告書 (5月25日実施) A4×1頁
---------	----------------------------------------------------------------------------------

クラス	No.	チーム名	クラス順位	タイム(h:m:s)
B	34	GEBOKU	1	1:10:49
B	42	SC丹沢秦野	2	1:12:09
B	43	源流一本釣り	3	1:15:03
B	35	チーム晴れ男たちA	4	1:16:04
B	6	青竹荘A	5	1:16:24
B	13	怪足アーバン	6	1:20:17
B	4	エイドリあ〜ん	7	1:22:28
B	3	スパルタンストラテジー	8	1:23:52
B	19	高松山グルグルクラブ	9	1:24:46
B	2	鎌倉ランニングクラブM1	10	1:27:42
B	39	チーム観音	11	1:27:51
B	14	チーム他力本願's	12	1:28:03
B	15	1 HBHS	13	1:29:46
B	25	RK	14	1:30:59
B	37	湘南ランニングクラブ	15	1:31:13
B	7	RUN酒	16	1:31:26
B	29	KGMC OB会B	17	1:33:33
B	16	TEAM HS	18	1:34:14
B	9	青竹荘B	19	1:35:11
B	31	商大ワンダラー	20	1:35:58
B	1	ハルキング	21	1:37:14
B	10	海の運び屋A	22	1:37:17
B	36	晴れ男たち	23	1:37:24
B	41	横浜選抜A	24	1:37:31
B	28	KGMC OB会A	25	1:37:38
B	21	Austin155-1	26	1:40:44
B	17	エイドリあ〜んB	27	1:43:21
B	11	海の運び屋B	28	1:44:54
B	5	鎌倉ランニングクラブM2	29	1:48:10
B	27	キオクボッカーズ	30	1:51:06
B	18	あかつき	31	1:53:49
B	8	セミバラ友の会	32	1:54:42
B	22	上野ランニング倶楽部	33	1:56:03
B	23	Austin155-A	34	1:56:46
B	40	チーム堀山	35	1:59:59
B	26	石ころ運び隊2024	36	2:01:11
B	44	HoHoHo	37	2:13:12
B	30	YSK-RC	38	2:17:40
B	32	ふなべろスピードスターズ	39	2:36:08
B	38	若さを取り戻そうの会	参考記録	1:59:13
B	12	ニューヨーク	棄権	
B	20	MTH	棄権	
B	24	花立山荘	棄権	
B	33	金盃	棄権	
C	205	かよわい源流系山女たち	1	1:14:48
C	202	ひとめぼれ	2	1:18:34
C	201	青竹荘女子	3	1:23:38
C	206	culture RC	4	1:24:01
C	204	鎌倉ランニングクラブW	5	1:29:30
C	203	よければ一緒に	6	1:57:31

登山道整備活動実施報告書

丹沢ポッカ駅伝競争大会実行委員会

件 名:	丹沢ポッカ駅伝競争大会実施後に伴う登山道の補修
実施日時:	2024 年 5 月 25 日 10:00～16:30 (現地集合・現地解散)
実施場所:	丹沢大倉尾根登山道(花立山荘付近)
実施主体:	丹沢ポッカ駅伝競争大会実行委員会
参加者:	よければ一緒(斎藤、稲垣)、エイドリあーん(西原)、江戸くノ一組(武富夫妻)、そして一般登山者
実行委員:	吉田、中丸、日置、井上、榎本、高橋守、新堀 ※敬称略

報 告:

第36回丹沢ポッカ駅伝競争大会は、2024年5月12日に46チームの参加により盛況のうちに閉幕した。この大会に付帯する行事として、登山道整備活動事業を実施したので報告します。

この丹沢ポッカ駅伝競争大会は、チーム(4人)によりタスキ替わりに砂利をポッカ(荷上げ)することで時間を競う大会です。36回大会および練習期間を含めると、約100袋(約2トン)の砂利が運びあげられました。練習用の砂利は各中継点(見晴茶屋、駒止茶屋、堀山の家)にも少量運びあげられていますが、殆どがゴールの花立山荘前に上げられています。(各中継点の砂利については中継点の山小屋の協力で有効利用される予定です。)

今回の登山道補修作業は幸いにも当日は晴天に恵まれ、実施することができました。大会参加チームの方々ははじめ、一般登山者のご協力もいただき、また実行委員も参加しての作業でした。皆さんには感謝を申し上げます。また、多くの登山者からは「ご苦労様です。」「ありがとうございます。」等の声掛けをされました。主に20Kgの砂利袋を主体に登山道階段部分の土砂の流失が進んでいる部分や、路面の凹み部分を中心に砂利を投入しました。参加者の精力的な作業により予定した作業はほぼ完了しました。また花立山荘には、一部の砂利を今後の作業に必要なため残置しました。

		
ゴールの砂利(一部)	砂利を運ぶ 1	砂利を運ぶ 2
		
砂利を運ぶ 3	仕上がった階段部分	参加者一同